

福祉に関するなんでも相談 ふくまる相談室

奇数月の
第2木曜日
定期的開催をします
3/14・5/9・7/11
9:00～12:00
ふくまる相談室
(鴻南包括支援センター併設)
TEL 083-934-3333

相談料
無料



令和6年能登半島地震義援金

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生し、多数の方々が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、この地震によって被災された方々を支援することを目的に、義援金の募集を地区社協窓口にて実施しています。お亡くなりになられた方々にお悔みを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

2月末日現在、皆様からお預かりしました義援金25,928円は石川県義援金受入れ指定口座へ振り込ませていただきました。

【受付期間】令和6年12月27日(金)まで
※被災状況に応じて期間を延長する場合があります。



撮影者:みつお

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました。

皆様の温かいご理解とご協力により、大歳地区の目標額を達成することができました。

今年度集まった共同募金の約7割が大歳地域で使われ、残りの約3割は、みなさんの住んでいる市町を超えた広域的な課題を解決するための活動に使われます。

歳末たすけあい募金は、年末年始にかけて、支援が必要な方や、交流事業への支援を通じて地域のつながり・支え合いを大切にする運動を応援しています。

令和5年度 赤い羽根共同募金

自治会分 (目標額 2,080,350 円)	1,768,770 円
法人分	251,200 円
団体・グループ等	16,710 円
合計	2,036,680 円

法人は、自治会ごとに対応していただきました。



つながり ささえあう みんなの地域づくり
歳末たすけあい募金

477,245 円

第4次大歳地区福祉活動計画

令和6年度～令和10年度



第3次大歳地区福祉活動計画を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染拡大の影響で従来通りの考えで行動をする事が難しくなり、制限をされた中での活動は大きく縮小されましたが、小地区見守り訪問活動と研修会・ふれあい弁当事業・三世代交流事業と時代の流れに沿って、創意工夫しながら実施をすることが出来ました。

第4次大歳地区福祉活動計画は、「福祉」の原点にもどり「支え合い」という社会的つながりを持ち続け、知恵を絞り工夫しながら取り組み大歳地区福祉活動5ヶ年計画を策定しました。

目指す姿を実現するためには、公的サービスやその仕組みを知っていただく事が大切です。地域にはいろんな世代の方が生活しておられます。交流の場を活用し、語り合い、相手を思いやり、寄り添う、助け合うというやさしい気持ちが大切です。

そんな人達が増えることで希望が生まれ、幸せの輪が広がると思います。



第4次大歳地区福祉計画
策定委員会にて作成

12月10日臨時総会開催にて



編集後記

大歳地区社協は第4次地区福祉活動5ヶ年計画を策定致し、令和6年度からスタートします。

日本の平均的寿命が男女50歳を超えたのは昭和22年で現在は男女ともに80歳を超え、一方少子高齢化社会がますます進行しています。行政も諸施策を講じています。確かに公的サービスも必要ですが、住民自身が地区の生活課題を共有し、「地域福祉活動」の推進が重要です。

大歳地区の方々からご寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。
寄附の香典返しは、募金額の半分が山口市社協へ、もう半分が大歳地区社協へとなり、一般寄附はご厚意の金額が各自治会の防犯灯設置、ゴミステーション設置、反射鏡設置などの助成費として使用させていただきます。

ご寄附

(受付順・敬称略)

令和5年11月1日～令和6年2月29日

一般寄附

大歳まつり実行委員会
(大歳まつりにおける遊休品バザー)
28,905 円

匿名
(矢原河川公園馬頭観音費)
22,741 円

匿名
(社会福祉推進費として)
5,000 円

知る (住民皆が福祉制度や活動を) 考える (自分にできることを) 動く (小さなことから始めよう)

【地区社会福祉協議会(略して地区社協)とは】
市社協のように法律に定められた団体ではなく、住民の皆さんが自分たちの住む地域の福祉課題を「住民同士の助けあい」によって解決していくことを目的として設立された、任意の団体です。



すーちゃんです
ベットの写真
募集中!
キャットタワーの寝みがお気に入り
(たまごママ)

三世交代事業

●三世交代について●
地区社協では多世代交流を目的としたイベントを企画しています

恵方巻きを作ろう!!



実演中!

令和6年2月3日(土)に地域交流センターで、山口市食生活改善推進協議会大歳のみなさんのご協力のもと、和気あいあい楽しく「恵方巻」を作りました。

中に入れる具の調理実演を見て、お母さん達も「まあ、なるほど」と声が出ていました。子ども達も玉子を割ったりと、実演に参加できて大喜びでした。巻きすを使って巻いていくのに悪戦苦闘しましたが、皆さん上手に出来上がり、家まで待てない子ども達は、今年の恵方「東北東」に向けて食べる姿はとても可愛らしく、しあわせな気持ちになりました。食推のみなさんご指導ありがとうございました。



社協だより リニューアル



NEW
地区社協ロゴも出来ました!

既に表紙を見られて皆さんお気づきと思いますが、第3次福祉活動計画を見直し、新たに第4次が始まるのを機に「大歳地区社協だより」をリニューアルする運びとなりました。

新たな取り組みとして、皆様に「社協だより」といえばコレだね!と印象を持ってもらえるように、皆様から提案していただいた中から愛称は「つながり」と決まり、社協だよりのロゴも作成しました。

この事より、親しんで目を通していただける紙面になる様事務局一同努力してまいりますのでよろしくお願いたします。

おお

社協だより

NEW
季節によって色変わりますよ!

大歳地区行事

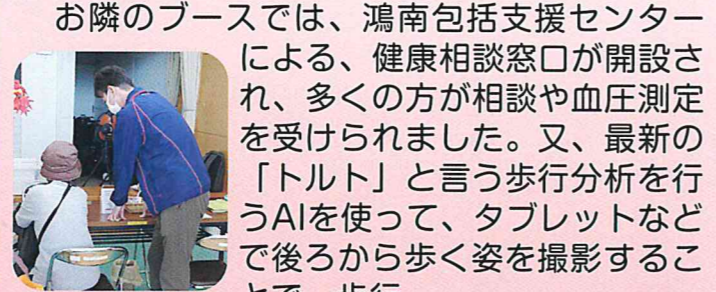
★今年も参加しました★

第47回大歳まつり



令和5年11月5日(日)に今年も大歳地区社会福祉協議会として参加しました。ほんの気持ちを形に可愛らしくて、小さな「プレゼントBOX」を地区社協の指導のもと、男女問わず楽しんで作ってくれました。

お隣のブースでは、鴻南包括支援センターによる、健康相談窓口が開設され、多くの方が相談や血圧測定を受けられました。又、最新の「トルト」と言う歩行分析を行うAIを使って、タブレットなどで後ろから歩く姿を撮影することで、歩行状態などが表示され、自身の状態を改善し健康寿命を伸ばすことで、住み慣れた家で長く生活できる手助けになればと思います。



社協からの お知らせ

社会福祉協議会は民間の福祉団体で、地域の福祉関係事業を行っています。財源は行政からの助成金及び地区住民の皆様からの会費、共同募金の割り戻し金、各種の寄附金等で運営しています。

大歳地区内の防犯灯・反射鏡・法定外工事等に助成しておりますが、地区社協の財源状況は、寄附金(香典返し、忌明け)が大きく減少しており、コロナの影響で財政は逼迫を余儀なくされています。

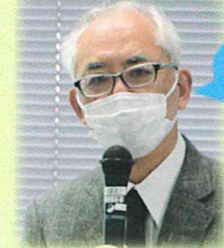
高齢化社会が一層進むなかで、社会福祉活動は身近で重要になってきます。「みんなで支え合い、希望もてる大歳」をめざして活動してまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



見守り訪問部

第2回

小地区見守り訪問活動研修会



見守り活動と地域共生社会
—市民・担い手・専門機関の結びつき—

山口県立大学
草平武志 名誉教授



民生児童委員協議会

令和6年1月12日(金)に、今年度2回目となるこの研修会を「令和5年度歳末たすけあい地域のつながりを絶やさない事業」の一環として“維新みらいふスタジアム”にて実施し58名の方々にご参加いただきました。

草平先生の講演に始まり、鴻南包括支援センター・ふくまる相談室・民生委員児童委員協議会・福祉員協議会から、見守り訪問活動に関する事例発表と山口市社会福祉協議会から事業説明がありました。

地域福祉とは「縦糸と横糸の関係」専門職と民生児童委員・福祉員・地域住民との関係、連携が大切だという事を受講し、更に事例発表では面談時の苦慮されている現状を聞き、その事に対する対応の仕方等を知り、情報を共有することで、専門職との連携が包括的支援体制へとつなげる大切な事だと確認でき、今後の福祉活動への支えの輪づくりとなればと思います。



鴻南包括支援センター
ふくまる相談室



福祉員協議会



山口市社協



給食サービス部

●ふれあい弁当について●
75歳以上(見守り対象者)のお1人暮らしで希望をされる方に年2回お配りしています。

ふれあい弁当



第1回目

第2回目

今年度は11月15・16日、2月28・29日の2回実施しました。

お弁当は、山口市食生活改善推進員大歳と大歳なすの会を中心としたメンバーが季節の食材を使い、栄養バランス・彩りを考えられて手作りされており、ペーパーフラワー等は大歳お花づくりの会が作られ、優しさとおもったお弁当とお花です。

それを民生児童委員・福祉員の皆さんが希望者のお宅までお届けしました。関係者の皆さんご協力ありがとうございました。

♡第1回目には西京高校の生徒さんが福祉ボランティア体験で参加されましたよ♡



ふれあい・いきいきサロン

●サロン交流会について●
各サロンからお二人参加いただき、マイクロバス運行事業の高齢者外出支援先の場所などの参考や情報交換をしました。

サロン交流会

10月13日(金)に、大歳地区内の各サロンから代表者2名に参加していただき、高齢者の外出支援先として角島(旧豊北町)方へ行きました。素晴らしい天候に恵まれ、元乃隅神社では景色を堪能しつつも海風に負けずしっかり歩き、鳥居の賽銭箱に賽銭を投げ入れました。

昼食時には、情報交換を行いサロンの資質向上、意識の向上をめざす活発な意見が出て、次年度への課題を見つけることができました。

